

# 平成30年度 学力向上アクションプラン

## 1・学校の状況と地域の実態

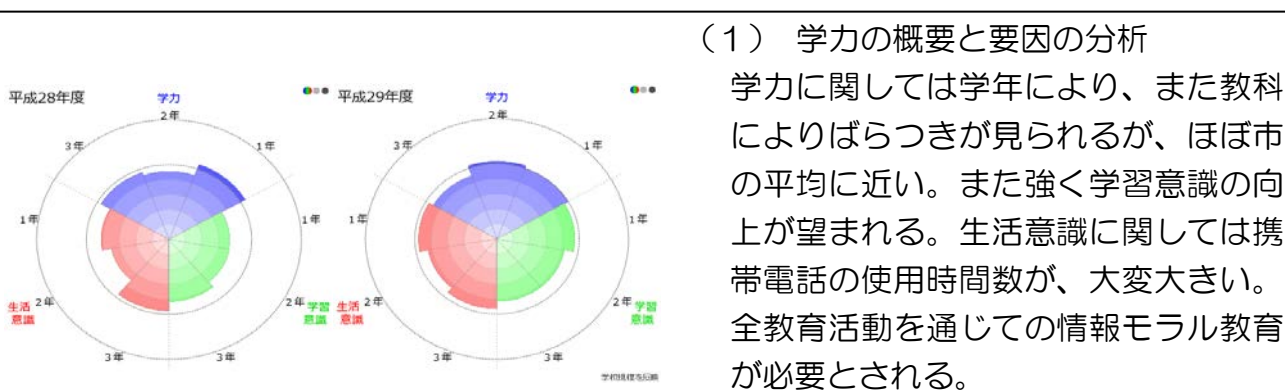
- ① 勉強がどちらかというと嫌いだという生徒が、全体の7割を超え、なかなか自ら課題をもって取り組もうとする意欲の向上が見られない。
- ② 教員は生徒の意欲・関心の向上のための研修をし、努力している。
- ③ 携帯電話やスマートフォンを1日1時間以上操作する生徒は、全体の6割を超えている。正しく使用するための組織的な取り組みが、必要となっている。
- ④ 商業地区を近くに控え、職場体験学習などの教育活動を好意的に見守ってくれる。
- ⑤ 一日の家庭での読書量が10分以下という生徒が6割以上おり、自身を向上させるため、特に指導していく必要がある。

## 2・今後3年間の方向（中期学校経営方針）

### 学力向上に関する指導の目標・方針（平成30年度末の姿）

すべての教科で言語活動を充実させると共に、主体的に思考力・判断力・行動力を育てる指導を行います。そのために、①教員一人ひとりの授業力を向上させる取組を行います。②生徒の家庭学習の習慣化を図り、基礎学力を向上させます。

## 3・横浜市学力学習状況調査からの平成29年度の実態把握



### (2) 教科学習の状況

国語科：理解できる生徒と理解が十分でない子に応じた指導の工夫が課題。

社会科：生徒の関心、意欲を引き出す指導方法の工夫が課題。

数学科：基本的な事項の定着観をもたせる授業方法の研修が課題。

理科：関心、意欲を引き出す授業の展開の研修と教材開発が課題。

英語科：基礎、基本の定着のための積み上げ方法と興味をもてる教材開発が課題。

### (3) 経年変化の状況と要因の分析（学習・生活意識調査も含めて分析）

学力向上のための障害要因が、学習意識の低さである。どの教科においても基礎、基本の定着を図り、意欲を増進させ反復練習することが最重要課題である。また、全教育活動を通して情報教育や道徳教育の伸展を図ることが、重要課題である。

#### 4・平成30年度 目標と具体的方策

##### 平成30年度 目標

基礎基本の定着を意図した指導方法の工夫と研修

##### (1) 学校組織としての共通の取組

###### ○わかる授業、楽しい授業の確立

個別に対応した学習支援方法の確立を目指し、日々教員の研修体制の構築を図る。

###### ○確かな学力の向上

基礎、基本の定着と知の総合化を図るためにも読解力の向上を目指す。

###### ○学習習慣の定着

自ら課題を見つけ、計画的に工夫し解決しようとする態度を身に付ける。

##### ○わかる授業、楽しい授業の確立

##### (2) 学力・教科等としての取組

###### 国語

- 漢字や暗誦課題の反復練習の定着を図る。
- コミュニケーション能力の育成と読解力の育成を図る指導方法の研究と研修。
- 言語活動と読書活動の推進。

###### 数学

- 数式や文字を使って使用することで思考・判断力を高める。
- グループ学習を取り入れ、お互いの知識を確認する。
- 発表の場を多くし表現力を身につけさせる。

###### 音楽

- 音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばす。
- 多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に観賞する能力を高める。
- 我が国の音楽に愛着をもつとともに他国の音楽文化を尊重する態度を養う。

###### 技術・家庭

- 生活に役立つ技能の習得・定着を図る。
- 生きる力を育てる教材の活用法と技能指導の工夫と研究。

###### 特別活動

- 個性の伸長を図り、それを活かすことができる活動を計画的に持つ。
- 自主的・実践的活動を活性化させ充実させるために、リーダーの育成を図る。
- 話し合い活動の充実を図る。

###### 個別支援学級

- 書く・読む・話す力を伸ばして人とのコミュニケーションをとる。
- 体力を向上させて長い時間活動に取り組む能力をつける。
- 自分ができる作業能力を伸ばし、与えられたことには責任をもって行動する。

###### 社会

- 生徒の意欲を高める授業展開をめざす。
- 課題を設定し、自ら解決する能力を養う。
- お互いの意見を交換したり、自分の考えをさまざまな方法で伝えたりできるようなコミュニケーション能力を高める。

###### 理科

- 目的をもって観察・実験などを行い、理解を深めるとともに科学的見方や考え方を養う。
- 教材や発問を工夫して自然現象に対する興味・関心を高めるとともに、身近な生活と結び付けて理科学習の有用感を高める。
- 基礎的な知識・理解の確実な習得を目指す。

###### 美術

- 基礎・基本の知識、技能を定着させる題材の設定。
- 主題を基に豊かな発想と創意工夫した表現でいる指導。
- 言語活動を活用した表現及び鑑賞学習の推進。

###### 保健体育

- 基礎的・基本的な知識、技能及び学び方の定着。
- 生涯にわたって運動に親しみ、健康な生活を営んでゆく資質・能力の育成。
- 健康の保持増進と体力の向上

###### 外国語

- 反復練習を重ね、基礎・基本の定着を図る。
- 「話す」「聞く」「書く」「読む」の4領域の育成を図る指導方法の研究と研修。
- コミュニケーション活動の充実。

###### 総合的な学習の時間

- キャリア教育で学んだ事がらを自分なりに整理分析して自分の進路(将来)について真剣に考えられるようにする指導の定着。
- 横浜の時間の意識付けと指導の確立。